

# 令和元年9月三木市教育委員会（定例会）会議録

## 1 開催日程

- (1) 開 会 令和元年9月19日（木）午後3時00分
- (2) 閉 会 令和元年9月19日（木）午後4時45分

## 2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

## 3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
- 第 2 会議録の承認について
- 第 3 会議の非公開の決定について
- 第 4 第2号議案 三木市立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を  
改正する規則の制定について
- 第 5 第3号議案 平成30年度の三木市教育委員会の事務の管理及  
び執行の状況に関する点検・評価報告書について
- 第 6 協議事項7 国の幼児教育・保育の無償化に伴う関係規則の改  
正について
- 第 7 報告事項 平成30年度社会教育活動状況報告書について
- 第 8 報告事項 各課の所管事項について
- 第 9 その他
- 第 10 次回定例会の開催日程について

## 4 出席者

教 育 長	西 本 則 彦
委 員	石 井 ひろ美
委 員	浦 崎 秀 一
委 員	大 北 由 美
委 員	實 井 政 治

## 5 欠席者 なし

## 6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	石 田 英 之
-------------	---------

教育振興部長	奥村	浩哉
教育振興部次長	岩崎	恵
教育総務課長	五百蔵	一也
教育施設課長	長池	陽作
文化・スポーツ課長	金井	善純
学校教育課長	坂田	直裕
教育センター所長	橋本	泰一
教育・保育課長	正心	均
生涯学習課長	近藤	豊
図書館長	伊藤	真紀
人権推進課長	辻田	政顕
教育総務課主事	藤原	亮太
教育総務課	澤田	静香

7 傍聴者 1人

\*\*\*\*\*

開 会

教育長が、令和元年9月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

\*\*\*\*\*

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、浦崎委員と大北委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、令和元年8月定例会（22日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、公開で審議することを決定した。

日程第4 第2号議案 三木市立幼稚園の管理運営に関する規則の一部  
を改正する規則の制定について

○正心教育・保育課長が、次のように説明した。

制定の理由及び改正内容については、国の幼児教育・保育の無償化に伴い、利用者負担の額について必要な見直しを行う。施行期日は、令和元年10月1日とする。また、三木市幼保一体化計画に基づき、令和2年3月31日をもって廃園となる三木幼稚園の園区について、必要な見直しを行う。三木幼稚園園区としている三木、志染、口吉川、豊地小学校区を残る4園への通園に制限することは、小学校への接続や通園距離を考慮すると現実的な園区とは言い難い。また、認定こども園制度が浸透したため、認定こども園の園区割による就園が望ましいと考える。よって、規則改正により三樹、緑が丘東、自由が丘、広野幼稚園のいずれの園についても通園可能な自由園区とし、施行期日は令和2年4月1日と考えている。

(石井委員) 三木幼稚園区の未就園児が園を選択する際、募集はいつから開始するのか。

(正心教育・保育課長) 募集用紙の配布は10月5日、募集受付は10月7日から開始する。三木幼稚園については廃園となるため、幼稚園への入園を希望される方には、別の園を選択いただきたい旨、周知していく予定である。

教育長が、第2号議案について採決を行い、原案のとおり可決された。

日程第5 第3号議案 平成30年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について

○五百蔵教育総務課長が、次のように説明した。

7月及び8月定例会で協議いただき、その際のご意見をもとに修正するとともに、最後に外部評価者の評価を加えている。主な修正箇所について説明させていただく。

点検・評価報告書の2ページの教育委員一覧表の備考欄に、保護者委員についての表記を追加した。

報告書14ページの平成30年度に策定した「三木市就学前教育・

保育共通カリキュラム」の文言が欠落していたため正確に記載した。

報告書 17 ページの表の示す意味合いを明確にするため、表題の一部を修正するとともに、表の「在籍人員」欄に内数として記載していた市外在住園児数を削除し、表の右下に「在籍人員には市外在住の入所（園）乳幼児を含む。」という注釈を追加した。

報告書 18 ページの表も 17 ページと同様に表の意味合いを明確にするため、表題を変更した。また、表の各欄に「市外施設に入所する乳幼児数」を内数として記載していたが、削除し、表の右下に「市外施設への入所（園）乳幼児を含む。」という注釈を追加した。

報告書 23 ページの「ウ 我が国と郷土を愛する心を養う教育（ふるさと教育）」は、24 ページ以降の「(4)豊かな心の育成」に記載していたが、第 2 期三木市教育振興基本計画では、「ふるさと教育」が「グローバル人材の育成」に分類されていることから、記載場所を変更した。あわせて、「国際社会において主体的に」という表現を追加した。

報告書 25 ページの「出現率はおおむね全国や兵庫県と同程度でした。」という記述内容に誤りがあったため、「出現率は全国や兵庫県の平均に比べおおむね半分でした。」に改めた。

報告書 65 ページ以降が外部評価者の評価となっている。

今回、最終審議をいただき、議決後に市議会への報告、ホームページへの掲載及び市政情報コーナーへの設置を行う予定である。

(西本教育長) 今回から新たな外部評価者として、学力向上推進委員会や学校再編検討会議でお世話になっており、三木市の状況も把握されている山下晃一氏が就任され、様々な意見、助言等の評価をいただいた。

(石井委員) 点検・評価報告書（案）については、よくできていると感じる。外部評価者からも高評価をいただいている。その一方で各分野において課題や要望も挙げていただいている。来年度に向け、しっかりとその内容を把握しておく必要がある。点検・評価報告書の作成に留まるだけでなく、外部評価者から意見を頂いているので、教育委員会としてそれに沿い、課題解決に向け研究していかなければならないところも多々あると思う。

山下先生が、「教員 1 人あたりの研修回数」の増加よりも、内容

の充実に力を注ぐことも一考であると助言されているが、今後、学校再編が進む中で、教員の力は非常に重要となってくる。子どもたちの力を更に伸ばすため、多岐にわたり子どもを理解して指導することができる教員が必要だと考えるので、教員の研修がさらに充実したものとなるよう内容の検討をお願いしたい。

(五百蔵教育総務課長) 今回は新たな評価者の新たな視点での評価を受けた。今年度も残り半年となったが、それぞれの担当する事務において、成果が上がるよう努めたい。

(西本教育長) 外部評価者から提言を受けた内容で、検討の必要がある項目については、事務局で一覧表の作成等を行い、見える形にしてください。

(大北委員) 外部評価者から総じて高い評価を頂いていることは大変喜ばしいことである。その中で、外部評価者が「今後に期待したい」という表現で結ばれているところは、課題として受け止めていただきたい。全国体力調査の結果では、毎年、三木市の子どもたちは全国平均を下回っている。すぐに効果が出なくても、教育委員会として、具体的に何か改善策を検討していく必要があるのではないかと。

また、OJTとの有機的連動による研修効果の向上で、教職員の人材育成を図ることは難しいと思われるが、その検証方法については、学校教育課や教育センターとも連携し、良い方法があれば検討いただきたい。

(西本教育長) どのような方法を用いて質の向上の検証結果を導き出すのか、数値化できない部分もある。また、職場内外で実施する研修において、どのようにすれば有機的連動になるのかということ、学校教育課、教育センター並びに教育・保育課も含めて、この点検・評価の課題として検討してほしい。

教育長が、第3号議案について採決を行い、原案のとおり可決された。

日程第6 協議事項7 国の幼児教育・保育の無償化に伴う関係規則の改正について

○正心教育・保育課長が、次のように報告した。

令和元年10月からの国の幼児教育・保育の無償化に伴い、保育料及び副食費について見直しを行う必要があることから関係規則を改正する。国の幼児教育・保育の無償化に伴い、1号認定及び3歳以上の2号認定の子ども並びに3号認定のうち、非課税世帯の子どもの保育料が無償となることから、三木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部改正を行う。副食費は、保育料に含まれており、本来は保護者の実費負担となっている。現在、三木市では、3歳以上の保育料を無償化しているため、副食費も実質無料となっている。このたびの国の無償化は、保育料のみが対象であり、副食費は保護者の実費負担となるが、これまで市が負担していた経緯があるため、民間園に対しては保護者への補助、公立園に対しては徴収せずに免除という形で考えている。この制度改正に対応するため、三木市立保育所条例施行規則及び三木市立認定こども園規則の一部改正を行う。

施行期日は、いずれの規則も令和元年10月1日である。

(大北委員) 0歳から2歳までの50%軽減も継続実施するということが、三木市が行っている施策について、市民の方々も知らない場合も多い。良いことを行っているので、もっとPRする必要があると思う。

(西本教育長) 三木市が行っている施策に関する情報を、広く市民の皆様を知っていただくためのPRを行っていきたい。

#### 日程第7 報告事項 平成30年度社会教育活動状況報告書について

○近藤生涯学習課長が、次のように報告した。

別冊の平成30年度社会教育活動状況報告書を作成した。毎年、作成しているもので、主要施策実績報告書から教育委員会各課及び市長部局の社会教育関係事業の実績を抜粋している。また、主要な事業については、成果と課題を掲載した。報告書は、ホームページや各公民館に配布し、広く市民へ公開する。

#### 日程第8 各課の所管事項について

##### (1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が、次のように報告した。

学校施設整備工事等の進捗状況について報告する。市立小・中・特別支援学校25校の特殊建築物等定期点検業務委託と平田小学校給食調理場耐震診断業務委託は、夏季休業期間中に学校現場での調査が完了し、報告書と耐震診断結果の作成を進めている。三木東中学校校舎及び屋内運動場屋根補修工事は、夏季休業期間中に工事を完了した。

学校情報教育機器について、現在、各学校のパソコン教室にあるデスクトップ型パソコンをタブレットに入れ替える作業を進めており、10月1日に全学校への設置が完了する。市立学校園防犯カメラ及び録画装置等購入について、各学校に設定作業を完了し、9月から運用を開始した。設置数は32施設で52台のカメラを設置した。平田小学校エレベーター設置等工事について、現場事務所の設置や建設場所の仮囲い等の作業に取り掛かる。

(實井委員) 早急に対応しなければならない施設の修繕費については、来年度の予算計上を検討されているのか。

(長池教育施設課長) 早急に対応が必要な施設の修繕等については今年度の予算で対応するが、対応できない部分については、来年度の予算計上を考えている。

(實井委員) 学校施設は災害時に避難所として使用されることが多い。昨今の気象状況からも、いどこで災害が発生しても不思議ではない状況である。三木市も山崎断層の一部が通っており、それが動いた場合に非常に大きな災害に繋がることが予想される。そのような時、学校施設は常に使える状態にあるべきと考えるので、もし、不具合箇所がある場合には、前向きに補修、補強を検討願いたい。

(大北委員) 防犯カメラ52台の設置施設の内訳を教えてください。

(長池教育施設課長) 平成29年度に設置済の特別支援学校と、緑が丘東小学校と兼用する緑が丘東幼稚園を除く全小・中学校及び認定こども園32施設に設置している。

## (2) 文化・スポーツ課報告事項

○金井文化・スポーツ課長が、次のように報告した。

実施した事業として、志染能楽仕舞こども教室発表会を8月25日に御坂神社能舞台で行った。発表者は志染能楽仕舞こども教室から12人、加西市こども狂言塾から30人であった。加西市との交流事業として開催され、見学者は280人であった。スポーツクラブ21ひょうご全県スポーツ大会ソフトバレーボール大会を9月14日に開催し、出場チームは20チームで、内三木市からは5チームの出場があった。

今後の予定として、みなぎの書道展の作品審査が9月21日に実施され、みなぎの書道展が10月5日から14日まで吉川総合公園文化体育館で開催される。

(浦崎委員) 文化財を所管されているのでお尋ねするが、古墳等の文化財の草刈りなどの維持管理については、どのように対応されているのか。

(金井文化・スポーツ課長) シルバー人材センターや各造園業者等に委託しており、それでは対応出来ない場合には、職員が草刈り等を行っている。

### (3) 学校教育課報告事項

○坂田学校教育課長が、次のように報告した。

第6回定例校園長会を9月5日に開催した。令和元年度8月末生徒指導関係のまとめ、平成31年度全国学力・学習状況調査の結果及び公表方針、令和元年度教職員人権教育研修会のまとめ等を主な内容として開催した。中学生対象の三木市ネット利用サミットを8月29日に開催し、参加者は24人であった。小学生対象の三木市ネット利用教室を9月3日から10日まで、小学校14校で開催した。

学校主要行事等として、全中学校・志染小学校の体育大会を9月14日に開催した。

今後の予定として、第7回定例校園長会を10月4日に開催する。運動会・体育大会は、口吉川、豊地、自由が丘東、平田を除く全小学校が9月21日に、三木特別支援学校が9月28日に開催する。6フレンドリーウォークを10月17日に開催する。



(石井委員) 「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果及び公表方針について」詳しい内容を知りたい。「三木市ネット利用サミット」を観覧したが、活発に意見を出し合い、子どもたちはメリットもデメリットも理解した上で使っていることが分かり、保護者としても感心した。

(坂田学校教育課長) 現在、各学校で平成31年度全国学力・学習状況調査結果の分析を行っている。公表については、校園長会で各学校の公表方法の統一化を依頼した。

(大北委員) 中学校の体育大会の組体操については、全校なくなり、それに代わる種目を披露されたと聞いている。小学校の運動会の組体操については、どれだけの学校が安全面を考えて種目を変更しているかなど、把握はできているのか。

(坂田学校教育課長) この秋に運動会を実施する小学校の約半数が組体操を実施する予定であるため、高さばかりを求めるということではなく、技の完成度や見せ方を工夫して、安全面を重視して取り組むように指導している。

#### (4) 教育センター報告事項

○橋本教育センター所長が、次のように報告した。

専門研修講座について、中間報告で実施状況をまとめている。今年度の募集人数650人に対して、全体で855人の参加者があった。

実施した事業として、「タブレット研修」並びに「タブレット運用・管理に関する説明会」の研修講座を全教員を対象に記載の日程で実施した。参加者は「タブレット研修」が338人、「タブレット運用・管理に関する説明会」が25人であった。不登校対策適応教室事業は、8月末現在10人が在籍している。

青少年センターの実施した事業として、人の目の垣根隊意見交換会を9月18日に開催し、参加者は5人であった。今後の予定事業については、青少年健全育成ポスター審査会を9月20日に実施し、夏季休業中に子どもたちが作成した作品を審査する。

(浦崎委員) 「スマホ時代の教師が知っておきたいこと」に教員が36

人参加されているが、どのようなことを研修されたのか。

(橋本教育センター所長) 子どもたちが今現在、どのようなアプリを使って、どのようなやり取りをしているのかが主な内容であった。子どもたちにとって、3か月前の情報は古く、大人との時間の感覚が違う現状の話等を伺った。

(石井委員) 保護者も子どもたちがどのようなスマホの使い方を知っているのかを知っておく必要があるため、保護者対象の講座も、もっと増やしてほしい。

(大北委員) 学力向上に係る大事な授業作りが充実しており、新たな教育課程への対応についても良い講座が揃っているため、学力向上のため、多くの教員の方々に研修の参加をお願いしたい。インクルーシブ教育については、予定よりも多く集まっている。現場の教員が苦勞されていることが分かる。

#### (5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が、次のように報告した。

実施した事業は、記載のとおりである。

今後の予定として、特定教育・保育施設第三者評価を記載の日程により、4施設で開催する。幼稚園、認定こども園及び保育所の運動会を記載の日程で開催する。令和2年度認定こども園及び保育所の児童募集の用紙配布を市役所5階大会議室で10月5日に実施する。10月7日から11月15日まで教育・保育課と吉川支所で受付を実施する。令和2年度幼稚園の児童募集は、11月5日から15日まで、それぞれの幼稚園で実施する。令和2年度アフタースクール入所の児童募集及び令和元年度冬休みアフタースクール入所の児童募集の用紙配布と受付を、10月15日から11月2日まで教育・保育課とそれぞれのアフタースクールで実施する。特定教育・保育施設の監査に関する研修会を10月26日に市役所5階大会議室で実施する。

#### (6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が、次のように報告した。

実施した事業として、サマースクール「デイキャンプ」を緑が丘・

青山公民館合同で8月26日にホースランドパークで開催し、参加者は39人であった。第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会が8月23日から24日まで開催され、三木市文化会館においても人権教育をテーマに分科会が開催された。参加者は663人であった。全体会については、ワールド記念ホールで開催された。

今後の予定事業として、第37回緑が丘町文化祭が10月11日から13日まで開催される。託児ボランティア養成講座を10月11日、18日、25日の3日間にかけて市民活動センターで開催する。これは、子育て中の保護者の学びを支援する託児ボランティアを養成する講座である。

#### (7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が、次のように報告した。

「一日図書館員」を8月19日に吉川図書館で、8月20日に青山図書館で、8月23日に中央図書館で開催した。参加者は吉川図書館が2人、青山図書館が2人、中央図書館が5人であった。「学校訪問」を8月30日に口吉川小学校で実施した。これは、学校からの依頼を受けて司書が訪問し、図書室の現場を見ながら読書相談等に応じるものである。「増田ふるさと公園からのメッセージ」としてバーチャル公園イベントを9月7日に、「増田ふるさと公園の春夏秋冬の展示」を9月2日から14日まで中央図書館視聴覚室・エントランスで開催した。

今後の予定として、「おとなのためのわくわく夜の図書館コンサート」を9月21日に中央図書館エントランスで開催する。これは、ガラス張りのエントランスという特色を活かした静かな夜の大人向けの雰囲気の中で奏でるサクソフォンとピアノの演奏会である。「すくすくの親子クッキング&おはなし会」を9月24日に吉川健康福祉センターで開催する。

定例で実施する事業は、記載のとおりである。

(大北委員) 「学校訪問」については、図書の選定、廃棄等の作業は大変難しいので、図書館司書に相談することによって問題解決ができるので、良い事業であると思う。

日程第9 その他 なし

日程第10 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催日程について諮り、令和元年10月23日午後3時から開催することを決定した。

\*\*\*\*\*

閉 会

教育長が、令和元年9月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。